

番号	27	名称	神田まつや
指定日	平成 15 年 6 月 9 日	所在地	神田須田町一丁目 13 番地
設計者	不詳	竣工	大正 14 年～昭和元年 (1925～1926)



歴史・文化的特徴

明治初期に武家地を開発してつくられた地域に位置している。近くにあった筋違橋門内の広場は八路ヶ原と呼ばれ、交通の結節点であった。ここに明治 45 年 (1912) 万世橋駅が作られ、周辺道路には路面電車が集中し、東京でもっとも賑わう場所となった。地域の南側には、昭和 3 年まで青果市場があり、活気のある場所でもあった。

まつやは、明治 17 年 (1884) この地に創業。周辺には老舗の飲食店が多く集まっている。東京都選定歴史的建造物に選定されている。

意匠・構造の特徴

近代和風の建物。創建当時の原型をよく留めている。

屋根の豪快な出し桁造り、巨大なちょうちんや看板など、大造りで個性豊かな店構えであり、2 階の欄干、1 階の松の葉をモチーフに小壁をくり抜いたデザインなどに特徴が見られる。

店は、小あがりがなく、土間にテーブル・椅子式で、床は豆砂利洗い出しである。

周辺景観との関係

靖国通りから少し入った通りに面して建っており、靖国通りからもよく見ることができる。

周辺にも飲食の老舗が多く、靖国通りから老舗街への導入部となっている。

左側の建物低層部は、和風建物を引き立たせるように落ち着いたデザインとなっている。